

子どもゆめ基金事業

『子どもゆめ基金』は、衆議院・参議院の超党派の国会議員により構成される「子どもの未来を考える議員連盟」が子供の未来のために有意義な基金の創設を発意し、平成13年4月に創設されたものです。

未来を担う夢を持った子供の健全育成を推進するため、民間団体が実施する自然の中でのキャンプや科学実験教室等の体験活動、絵本の読み聞かせ会等の読書活動、子ども向け教材を開発・普及する活動への支援を行っています。

イラスト/西村キヌ



助成事業

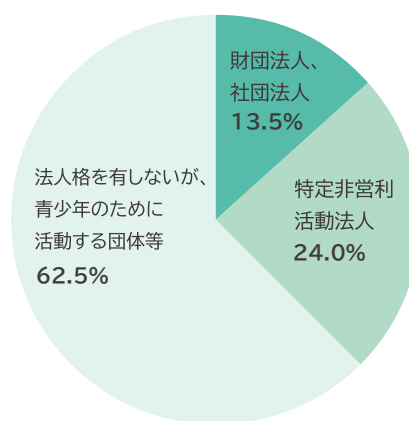
令和5年度 申請・採択状況(一次募集・二次募集)

活動分野	申請件数	採択件数	採択率	交付決定額(千円)
子どもの体験活動	3,486	2,901	83.2%	1,210,043
子どもの読書活動	352	309	87.8%	129,963
教材開発・普及活動	27	12	44.4%	75,657
合計	3,865	3,222	83.4%	1,415,663

1 助成の対象となる団体

- 財団法人や社団法人
- 特定非営利活動法人
- 法人格を有しないが、青少年のために活動する団体等

令和5年度団体種別申請状況



2 助成の対象となる活動

① 体験活動(子どもを対象とする活動・子どもを対象とする活動を支援する活動)

- キャンプや自然観察等の自然体験活動
- 科学実験教室等の科学体験活動
- 文化・芸術、スポーツ等を通じ、交流を目的とする体験活動
- 清掃活動等の社会奉仕体験活動
- 地域の商店街・農業・漁業等の職場体験活動
- フォーラム等普及活動や指導者養成事業 等

事例

キッズ&ジュニアサイエンス ～薬の不思議編～

団体名：学校法人新潟薬科大学 活動日：令和5年7月15日、16日、10月1日
募集対象：小学校1～6年生、中学生

小中学生を対象に、薬に興味を持ち、正しい飲み方や知識を学ぶことを目的に薬の実験教室を実施しました。シロップ剤と水、お茶、ジュースを混ぜて比較することで、薬と飲み物の相互作用について学んだり、ラムネを用いて散剤を作ったり、作った散剤をもとにカプセル剤を作り、どれが早く溶けるのか、それぞれの剤型の特徴について学びました。さらに、処方せんをもらい軟膏を作って、薬を渡す実際の薬剤師の仕事を体験するなど、薬についての正しい飲み方や知識について理解を深める機会となりました。



② 読書活動(子どもを対象とする活動・子どもを対象とする活動を支援する活動)

- 読み聞かせ会、読書会活動
- フォーラム等普及活動、指導者養成事業 等

事例

見えない見えにくい子どもと本をつなぐ

団体名：NPO 法人弱視の子どもたちに絵本を 活動日：令和5年7月9日

募集対象：大学生、一般成人、視覚障害者、ボランティア

視覚障害児の読書活動を支援するためのフォーラムを開催しました。今回は、視覚障害についての理解を深めるため、絵本「みえなくなっちゃこくか」の著者で全盲の三輪途道氏から「見えない」を理解するための講演や見えない子供に伝わる本について考えるワークショップを行いました。視覚障害者、絵本と子供をつなぐ人、点字や音声ボランティアの方々にとって、新たな視点に気づく機会となりました。



③ 子ども向け教材開発・普及活動

- インターネット等で使用可能なデジタル教材を開発し普及する活動

事例

発掘って遺跡だけじゃない! コモンジョ(古文書)を発掘して「昔」から自分のことを発見してみよう

団体名：武蔵野大学古文書研究所

子供たちが身近なところから古文書かもしれない物を見つけることから活動を始めます。古い手紙や葉書、難しい文字だらけで読めない物、古文書かどうかかわからないものでも、見つけたら近くの図書館や郷土資料館、博物館を活用して手がかりを得て、地域の中に飛び出して昔の痕跡の中に自分のルーツや歴史発見、過去との対話、先祖とのつながりをフィールドワークする地域社会体験を展開する教材です。



<https://dig.mu-komonjo.com/>



普及啓発

子供の体験活動や読書活動の振興を図るための普及啓発を行っています。

普及啓発事業

全国的な規模で子供たちの体験活動や読書活動の重要性を普及・啓発する機会を提供するため、例年、以下のような事業を実施しています。

1. ミクロネシア諸島自然体験交流事業
2. 日中韓子ども童話交流事業
3. 「子どもゆめ基金ガイド」の作成・配布
4. 少年の主張全国大会
5. 子どもの読書活動推進フォーラム 等



作成した絵本の発表会
(日中韓子ども童話交流事業)